

山名・山域	大菩薩連嶺（笹子駅～森林公園～寂しょう尾根～滝子山～曲がり沢分岐～森林公園～笹子駅）
山行目的	紅葉狩り
山行期間	2016年11月12日（日帰り）
参加者	5名

ルート、コースタイム

12日 0800 笹子駅—0830 森林公園—1115 滝子山（昼食）—1430 森林公園—1550 笹子駅

山行記録（記録性を重視し、天候、コースの状況・特徴、注意点、必要になった用具など）

滝子山は山梨県大月市にある標高 1620mの山である。「山と高原地図」には 1590m となっているが、一般的に滝子山と呼ばれている山頂のすぐ東に正しい滝子山山頂があり、これが 1590m となっている。大月市の秀麗富嶽十二景に選ばれており、山頂からの眺めがすばらしい。ただ我々が山頂に着いた時には雲がかかり始め、下からガスが上がってきてあまり展望がきかなかった。雲が晴れていれば南には富士山がきれいに見えるはずであった。

笹子駅からしばらく車道を歩き、森林公園へ。公園へ入ってすぐ寂梢苑と書かれた標識を右へ入る。この標識の字が消えかかっている分りづらい。30分ほど登ると林道に出て林道向かいから寂しょう尾根が始まる。黄色や赤色に染まった紅葉の中を登っていく。だんだんと尾根が細く険しくなる。岩登りを繰り返し、いくつもピークを越えて山頂にたどり着く。過去に滑落死亡事故がおきたこともあるという寂しょう尾根を登り切って一安心。この尾根を下るのは少々怖いと皆感じた。

ここで昼食をとったあと、登ってきた方向と逆に下りる。すぐに分岐があり、鎮西ヶ池方向へ。広々とした見晴らしの良い草地を下りていく。やがて谷川沿いの細い道となる。所々道が崩れ、細くなっている。朝登り始めた森林公園を経由して本日の目的の1つである笹一酒造へ。1000円でグラスをくれて日本酒やワインが飲み放題。おみやげのお酒もついて大満足であった。ほろ酔いとなったところで駅に戻り散会とした。

以上



ルート



紅葉の寂しょう尾根

